

交野市教委ニュース

第93号（平成30年5月28日発行）

小・中学校での安全教育について

交野市教育委員会では、学校・家庭・地域が連携して安心・安全な環境づくりを推進し、子どもの安全確保と危機管理体制の充実を図っています。小・中学校において、犯罪被害の未然防止はもちろん、教職員の様々な危機管理の意識向上や対応の強化につながる研修等を積極的に実施するなど、子どもの安心・安全につながる様々な取組みを行っています。

小学校防犯安全教室



はんにん登場！
子どもたちの背筋が
ピンと伸びました！

はんにんの顔のとく
ちょうをよく思い出
しながら・・・



大阪府警本部、交野警察、市の危機管理室と連携し、小学校で防犯安全教室を実施しました（1・2年生対象 隔年で5校ずつ実施）。下校時等の安全確保の心得や、知らない人に連れて行かれそうになった時の対処法など、実演を交えて分かりやすく教わりました。

教職員心肺蘇生法研修



交野市消防本部の指導のもと、主に本年度新規採用教員を対象に心肺蘇生法研修を実施しました。未然防止が当然のことながら、学校での予期せぬ事故に適切に対応するべく、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用等についての技能を習得しました。水泳指導時をはじめ、様々な危機場面を想定した対処法について、各自真剣な様子で取り組んでいました。

児童・生徒の安全意識の向上を図るための、関係機関との連携による各種安全教室の実施等、今後も安全教育の充実に努めます。また、減災の視点から、発生時には危険を回避するために主体的に行動する態度の育成に努めるよう各学校への働きかけを強化します。

また、教職員に対して、児童・生徒の犯罪被害の現状把握、危機管理の意識向上や対応の強化につながる研修等を実施するなどの支援を継続し、児童・生徒が安心して過ごすことのできる学習環境づくりに努めます。